

事務連絡23-11
2023年9月13日

介護保険制度改善と介護従事者の処遇改善を求める 請願署名提出行動

中央社会保障推進協議会
事務局長 林 信梧

日々の社会保障を守り推進する活動に敬意を表します。

政府が当初提案したケアプランの有料化、要介護1、2のサービスの総合事業への移行などの抜本改悪案は、反対世論の広がりの中で先送りさせることができました。しかし政府は、利用料2割負担の対象拡大、一定の所得以上の高齢者への保険料引き上げについて引き続き検討し、2023年末までに結論を出すとしています。利用者・事業者双方に新たな負担を押しつけるものであり、断じて認めることはできません。

介護従事者の処遇改善は待ったなしの課題です。昨年からの新たな処遇改善が開始されていますが、全産業平均給与との差を埋めるには程遠い水準です。

行き届いた介護を実現するためには、社会保障費を大幅に増やし、介護保険制度の抜本改善、介護従事者の大幅な処遇改善と増員を図ることが何よりも必要です。制度の改悪をやめ、憲法25条に基づく「介護の社会化」実現に向けて新たに署名を提起しました。

記

介護保険制度改善と介護従事者の処遇改善を求める請願署名提出行動

2023年12月4日（月）参議院議員会館を予定

12:00～13:00 署名提出院内集会

※ 集会後に衆参の厚生労働委員を中心に国会行動を行います。

地元国会議員へ向けて紹介議員の訴えをするとともに、国会行動で地元国会議員へ署名を届けましょう。

※ 11月27日（月）までに中央社保協事務局までお送りください。

ご持参される場合も集約の関係がありますので署名数をお知らせいただければ幸いです。また、提出の関係で1000筆を一束にまとめていただけると大変助かります。

以上